

**青森県産品使用の
サブプリメント発売**

きよつ、県内3業者

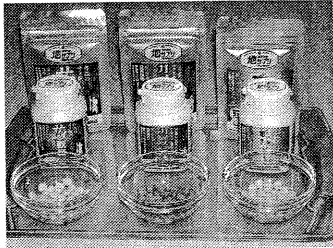
青森県内の3業者がニクなどの県産品を使って製造したサブプリメント「地サブリ」が10日、インターネットのサイトで発売される。写真。サブプリは県産品を扱う「かめあし」（弘前市）が運営する「かめあし商店」。

地サブプリは3種類。田子町産ニク、近海で水揚げされるアブラツノザメの軟骨、三戸町の山林に自生する「ガマズミ」の粉末を粒状に固めた。コレステロール値を抑えらるるとされるシクロアライインのほか、コラーゲン、ポリフェノールなどの成分をそれぞれ含む。

製造元は田子町のニク

加工業「田子かわむらアグリサービス」、青森市の水産加工業「田向商店」、三戸町でガマズミの果汁飲料を製造する「小野寺醸造元」。製造過程には県などが特許を取得した粉末化の技術が使われているという。

価格は50粒入り1260円、150粒入り3150円、300粒入り6300円。「かめあし商店」のほか、15日から青森市の県観光物産館「アスパム」などでも販売する。



H21. 7. 10

河北新報